

Y I C看護福祉専門学校 2019年度 第2回教育課程編成委員会 議事録

日 時：2020年2月27日（水） 14時～15時

会 場：5階カンファレンスルーム

出席者（委員）

A：山口県看護職能団体の長

B：山口県介護福祉士職能団体の長

C：介護福祉学科実習施設長

D：看護学科卒業生

E：介護福祉学科卒業生

欠席者（委員） 看護学科実習病院看護部長

出席者（学内教職員）

F：学校長

G：副校長

H：事務長

I：教務統括

J：教務課長

K：看護学科実習調整主任（書記）

1. 校長挨拶

今年度1月26日に介護福祉学科23名（中国人2名、ベトナム人5名含む）が国家試験を受験した。

2月16日には看護学科64名が国家試験を受験した。合格発表が、介護福祉学科3月25日、看護学科3月19日である。また、新カリキュラムが介護福祉学科は2021年度、看護学科が2022年度から開始となる。今後カリキュラム改正に取り組んでいく。看護教育のカリキュラム改正では生活を支援する能力、多職種と協働できる能力、保健指導ができる能力が求められる。生活を支援できる能力、多職種と協働する能力は介護・看護に共通して求められている。Y I Cグループ内の他職種の学科と協力してカリキュラム改正の準備をしていきたい。

今後も社会に認められる専門職を送り出せるような教育ができるように努力していきたい。

2. 議事

議長：G

2019年度教育課程に基づく取組と評価、次年度の課題と対策について

（1）2019年度の取組と評価

（2）2020年度教育計画

【看護学科】

資料Ⅰに基づき説明する。（I，H）

【介護福祉学科】

資料Ⅱに基づき説明する。（J）

議長：看護学科の説明について質問はないか。

E委員：2年生の実習満足度が昨年度より低下しているのはなぜか？

K：成人看護学実習Ⅰ終了後のもので、看護過程を展開する実習であり戸惑いや不安が大きかったと思う。

また、ストレスを感じやすい学生が多かったことも一因であると思う。

G：1年生の基礎看護学実習に続く実習で、アセスメントや看護計画立案の大変さを感じて、満足度が低くなったのではないかと思う。

K：成人看護学実習Ⅰの事前準備に対策を強化する必要があると思っている。

議長：介護福祉学科の説明について質問はないか。

B委員：国家試験不合格者のフォローはどうされているのか。

J：日本人卒業生については、模試の案内をして希望すれば一緒に申し込み受験させて学習のフォローをしている。

国家試験についても在學生と一緒に当校からバスで行く手配をしている。

外国人卒業生1名については、国家試験は受けずに5年間の実務を経て資格取得をすると聞いている。

C委員：多職種協働教育について質問したい。介護保険開始当初、老年看護学の教師、弁護士とともに勉強会をしたと

きに医療と保健・福祉の職種に共通言語がないという問題があることが分かった。Y I C看護福祉専門学校では、1つの学校に介護と看護の2つの科があるが、教育の取組はあるか。

議長：学科を超えた取り組みなども説明してほしい。

I：介護福祉学科の多職種連携についての講義で、リハビリテーション大学校から理学療法士、作業療法士、当校から保健師・看護師、社会福祉士、介護福祉士が集まり、それぞれの職種を説明した。学生にはとても評判が良かった。今後は、学生の前で教員が多職種でのカンファレンスを実際に行って、介護福祉学科・看護学科の学生との合同講義をしてみるとよいと考えている。介護福祉学科と看護学科の学生の交流やお互いの考えを話し合う場になるとよいと考えている。

J：共通言語としてはICFがあると思う。介護福祉学科と看護学科が共通の事例をもとに介護過程・看護過程を展開して検討会ができればよいと思う。外部の講師も含めて実施できればよいと考えている。

議長：生活に密着した援助の視点、病態を視野に入れた対象理解の視点から専門職としての多職種協働の在り方が理解できるような取り組みができればよいという考えである。

議長：その他何か質問やご意見はあるか。

A委員：看護学科の就職が100%となっているが、県内病院への就職率はどのくらいか。

G：75%である。

J：介護福祉学科は、1名福岡に就職したが、その他の学生は県内就職である。

D委員：看護学科で実習満足度を調べているが目的は何か。介護福祉学科は満足度を調べていないのか。

K：看護学科では、教員・指導者の実習指導と実習環境の改善の目的で調べている。様式としては、学生の主観的な満足度を記入させている。

J：介護福祉学科では、実習満足度の調査はしていない。実習の到達度の自己評価はさせている。

A委員：介護福祉学科は実習指導者の研修はあるか。

J：実習指導者研修はある。指導者は全員指導者研修を受けている。

先日、新カリキュラム対応介護実習指導者研修に参加してみた。指導者の立場での指導の在り方を考える良い研修であった。

A委員：学校の指導と実習施設での指導の一貫性が大切だと思っている。

議事について、全員一致で承認